

## 第32回市民公開講座を開催しました



アクトシティ浜松コンgresセンター31会議室において、第32回浜松医療センター市民公開講座「よくわかる！がんの話 ～がんゲノム医療ってなに？～」を開催しました。約200名の市民の方に参加

いただき、盛況のうちに終わることができました。アンケートの結果からも「ゲノム医療という言葉は知っていたが、内容を知ることができてよかった」「日々治療が進歩していること、現状を知ることができてよかった」などの意見をいただきました。

## 一次脳卒中センターの認定を受けました

当院は昨年9月1日付けで、一般社団法人日本脳卒中学会の認定要件を満たす医療機関として「一次脳卒中センター（PSC: Primary Stroke Center）」の認定を受けました。

認定には、「地域医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が患者搬入後可及的速やかに診療（rt-PA静注療法等）を開始できる」、「常勤専門医が24時間体制で勤務している」、「脳卒中チームがある」等の要件があります。



## インフルエンザQ&Aのページ新設について

浜松市内でもインフルエンザの流行に伴い、インフルエンザに関する疑問や不安を感じていることと思います。当院ホームページにて、矢野副院長・西田小児科部長が、患者の皆さまの疑問や不安に対し、Q&A形式で回答しています。

ホーム > 診療科・部門 > 感染症内科 > インフルエンザQ&A

<https://www.hmedc.or.jp/department/infectious-diseases/influenzaqa/>

# Topics

～12月から1月までの主な出来事を振り返ります～

12  
December

12.9 小児科病棟に！  
いつもより少しだけ早く  
サンタクロースがやってきました♪



## 12.22 クリスマスコンサート

楽友会オーケストラ浜松によるクリスマスコンサートが開催されました。1階の外来ロビーは、200名以上の方がお見えになり、2階から観覧する人もいました。大きな声で「ふるさと」を合唱したり、手拍子という打楽器で参加する曲目もあり、皆さんで楽しい時間を過ごすことができました♪



1  
January

## 1.15 エイズ医療従事者研修会



高宮感染症内科医長による「免疫不全者の感染予防～コツを知って、みんなで予防～」、矢野副院長による「HIV診療の最新情報～血液・体液曝露対策を含めて～」と題した研修会を開催

しました。今後もこのような研修会を通じて、地域のエイズ医療の向上を図り、より質の高い医療を提供していけるよう努めてまいります。

## 1.20 車椅子の寄贈

有限会社B | 通商様から車椅子を6台寄贈いただきました。車椅子寄贈授与式が行われ、海野院長からお礼の言葉と感謝状を贈りました。寄贈いただいた車椅子は大切に利用させていただきます。



# ふれあい

新規導入



高気圧酸素装置 セクリスト社(米国)(エア・ウォーター株式会社)

高気圧酸素治療装置を導入し、新しい治療を開始します。

高気圧酸素治療とは、大気圧よりも高い気圧環境の中で患者さんに高濃度酸素を吸ってもらうことによって、病態の改善を図る治療法です。

治療につきましては、各診療科主治医までご相談ください。

## 目次

- ① 高気圧酸素療法のご案内
- ② 第32回市民公開講座を開催いたしました
- ③ 一次脳卒中センターの認定を受けました
- ④ インフルエンザQ&Aのページ新設について
- ⑤ Topics



発行：浜松医療センター  
〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
URL <https://www.hmedc.or.jp>

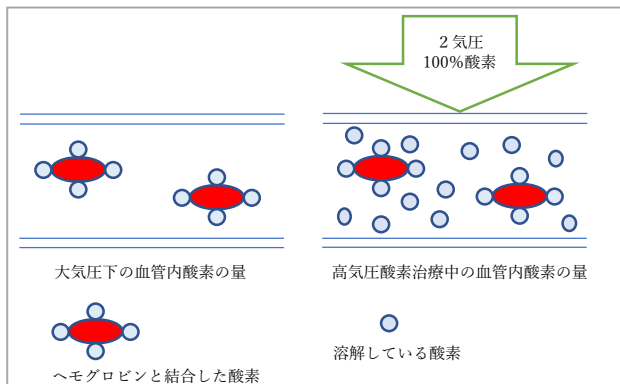
ご自由にお持ちください



# 高気圧酸素治療のご案内

## 高気圧酸素治療とは

高気圧酸素治療装置は、気密したタンクの中で酸素の圧力を大気圧以上にあげ、血液中に溶けている酸素の量を増やし、身体の隅々まで酸素を行き渡らせる効果があります。その効果を利用して低酸素症状を改善し治療しようとするものです。治療は、タンク内に入り、普通の気圧から2絶対気圧に気圧を上げ、その中で約90分間過ごしていただくこととなります。この治療は、1回/日10～30回行ないます。



治療中は、臨床工学技士が付き添いますので、ご安心ください！

## 高気圧酸素治療中は

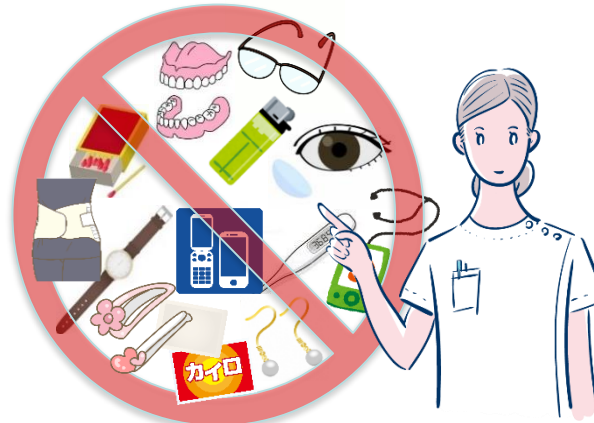
臨床工学技士が付き添いますので、安心してください。タンク内でもインターホンを通じて会話ができますし、治療の間にテレビもご覧になることができます。具合が悪くなった場合は、遠慮なくおっしゃってください。

また、タンク内に入り、治療を始めてから3～5分くらいすると、耳が少し痛くなる場合があります（飛行機に乗った時や、列車がトンネルに入った時の症状）。そうなった場合には、耳抜きをしていただきます。

## 治療室内に持ち込めないもの

高気圧酸素装置は100%酸素で気圧を上げます。燃えるもの、燃えやすいもの、壊れやすいものは持ち込むことができません。

- 燃えるもの  
マッチ、ライター、使い捨てカイロ、コルセット、電気製品
- タンクを傷つけるもの  
時計、ネックレス、ヘアピン、体温計、ピアス
- 身体を痛めるもの  
入れ歯、コンタクトレンズ、メガネ
- 故障してしまうもの  
時計、補聴器、湯たんぽ
- その他  
セルロイドなど引火性の品物、静電気の起きやすい衣類、治療上必要以外の医薬品、化粧品、整髪料



## 高気圧酸素治療の適応

救急的適応疾患（発症後1ヶ月以内・一連につき限度7回）

- ・減圧症又は空気塞栓

その他（一連につき限度10回）

- ・急性一酸化炭素中毒、その他のガス中毒
- ・重症軟部組織感染症、頭蓋内膿瘍
- ・急性末梢血管障害
- ・脳梗塞
- ・重症頭部外傷後、開頭術後の意識障害、脳浮腫
- ・重症の低酸素脳症
- ・腸閉塞

その他（一連につき限度30回）

- ・網膜動脈閉塞症
- ・突発性難聴
- ・放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍
- ・難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- ・皮膚移植
- ・脊髄神経疾患
- ・骨髄炎又は放射線障害

## 治療日時

月曜日～金曜日 午前9時00分～午後5時00分  
①9:00 ②11:00 ③13:00 ④15:00（4回/日）

治療時間は1回60分 加圧、減圧の際にゆっくり行いますので、トータルして90分程度の治療時間となります。

※ 状態に応じ、治療を受けることができないことがありますので、主治医、看護師までお気軽にご相談ください。